



完成したステンドグラスを見上げる宗谷小の児童

稚内の風景 ステンドグラスに

宗谷小 児童や父母、教職員が制作

【稚内】宗谷小の校舎玄関に、稚内の特徴的な風景をあしらったきれいなステンドグラスがお目見えした。児童23人とその父母、教職員らの計60人が手作りした。学びの玄関を明るく彩っている。

カラーセロハンを使ったステンドグラスは縦0.5m、横3.6m。風車や宗谷丘陵、白い道、海に沈む夕日、虹、子供たちを表現した。今春から父母らが仕事の合間に紙の縁やセロハンを切り、児童たちが貼り合わせた。それを業者が玄関内側の上部にある2重ガラスの

間にはさみ、9月下旬に完成した。

昨年着任した塩原千夏校長が「子供たちを毎日明るく出迎えたい」と発案。長野市の高校時代の同級生で東京の照明デザイナーの■■■■さんにデザインを依頼した。

児童会長の■■■■さん(6年)は「みんなで協力してすごくきれいにできた。世界中の人に见せたい」と目を輝かせる。塩原校長は「宗谷小の宝として大事にしていきたい」と話している。

(河相宏史)